

株式会社キンダイ

“近代的な技術”で世界を変える 老舗自動機器開発メーカー

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット



高速全自動ロールスリッター

主な事業内容	主な取引先(納入先)	主な製品
スリッターやヒートカット機など、各種自動機器製造・開発	フィルム、電子部品、化学製品、ゴムタイヤ、非鉄金属、建材メーカーなど	スリッター、ヒートカット機、タオル自動縫製機

業務内容

「ミシン開発から先端産業を支えるグローバル企業」

キンダイは、老舗の自動機器開発メーカーとして世界中で知られる。創業は昭和20年。創業者がミシンのオーバールールの依頼を受け、家庭用および工業用ミシンを製造・開発したのが始まり。戦後復興が進むにつれて市場にミシンが回るようになると、地場産業の泉州タオルの生産自動化に取り組み、わが国初となるタオル業界向け自動縫製機を開発。以来、泉州タオルのほか、今治タオルの生産を今日も支えている。現在、主力のスリッターに注力し始めたのは1980年代半ば以降で、非繊維業界を主軸に事業を拡大する。社名のキンダイには「近代的な技術で世界を変えていく」という思いが込められているが、常に時代の先を行く製品開発は、同社が支持される理由の一つとなっている。

強み

「世界中で愛される『KINDAIブランド』」

キンダイが長年愛され続ける理由は、顧客との信頼関係にある。同社が扱う各種自動機器は、メンテナンスにより長く使い続けてもらう機械であるからこそ、創業当初から顧客に寄り添うものづくりに努め

てきた。標準仕様を用意しながらも、スリッターであれば、切断する素材の特性に応じた最適な刃を選択。コンパクト化の希望があれば、使い勝手を向上したカスタマイズ提案で世界に一つの製品に仕上げ、長く使い続けられるものとしている。その思いは、創業者の孫に当たる寺内亮氏に引き継がれており、「アフターサービスこそが長いお付き合いになる新たな始まり」と説く。このような信頼関係を重視する姿勢が「世界中で長らく愛されるKINDAIブランドの礎」となっているのである。

百年業

「IoTリモートメンテナンスで業界のリーディングカンパニー」

現在、アフターサービスにも「近代的な技術」の投入を始めている。カメラ映像を組み合わせたIoTリモートメンテナンスである。機械から発生する振動や音などのデータを収集して変化点を抽出。カメラ映像の録画機能を生かして、生産に影響のないタイミングで消耗品の交換やメンテナンスを適切に実施し、故障を未然防止する。令和4年から本格展開している。このような先進的なIoTリモートメンテナンスの投入は、業界に刺激を与えるのは必至であり、寺内亮氏は「業界のリーディングカンパニーであり続けたい」と意気込む。

代表者あいさつ



営業本部長 寺内 亮さん

創業以来、顧客に寄り添う製品開発で「KINDAIブランドの礎」を築いてきました。チャレンジ精神を受け継ぎ、100年企業をめざしながら先進的なIoT技術を取り込み、革新的な機械を業界でいち早く市場に投入します。これからも「近代的な技術で世界を変えていく」、すなわち“Today's innovation, Tomorrow's world”の心持ちで取り組んでいきます。

主な保有設備

- フライス盤 1台
- 旋盤 1台
- アーク溶接機 1台
- 精密メタル裁断機 1台
- AutoCAD Autodesk製 3台



住 所 / 〒598-0001 泉佐野市 上瓦屋189
 T E L / 072-464-0861
 F A X / 072-464-0690
 創 業 / 昭和20年
 設 立 / 昭和25年6月
 資本金 / 1,900万円
 従業員 / 9名



精密部品の品質検査



展示ショールーム(大阪府泉佐野市)



<https://www.kindaiweb.co.jp/>